

交通バリアフリー教室 in 水戸市立新荘小学校

茨城運輸支局では、令和5年9月26日（火）に水戸市立新荘小学校の3年生28名、4年生32名を対象に「交通バリアフリー教室」を開催しました。当日は、茨城交通株式会社のノンステップバスを使用して、車いすや高齢者疑似体験セットを使った乗降・介助体験を実施しました。体験を通じて、車いすを使用している方や高齢者の方の大変さと手助けする大切さを学びました。

【開催概要】

日時：令和5年9月26日（火）9:20 ~ 11:50

場所：水戸市立新荘小学校

参加者：60名（3年生 28名、4年生 32名）

主催：茨城運輸支局、水戸市

協力：（公社）茨城県地方自治研究センター 研究員 有賀絵理氏〔講師〕、
（一社）茨城県バス協会、茨城交通（株）

【プログラム】

オリエンテーション

車いす体験 / 介助体験

高齢者疑似体験 / 介助体験

グループ発表

（体験してわかったこと、難しかったこと、良かったこと）

まとめ



参加者の感想

- ・車いす体験をして、スロープを上がったたり下がったりするのは、こわくて大変と思いました。
- ・高齢者体験をして、おじいさんやおばあさんがこんなに辛くて大変だと分かりました。
- ・やさしい気持ちを持って、ゆっくり声をかけながらサポートするのが大切だと思いました。
- ・運転手さん一人だと大変なので、お客さんの手伝いが大切だと思いました。
- ・みんなで協力して心を合わせて手伝うことがケガもなく大事だと思いました。
- ・手伝いをすると大変だけど、うれしいと思いました。
- ・今度バスに乗った時に車いすの人がいたら手伝いたいです。



車いす体験



高齢者疑似体験



グループ発表